

## 八潮市変動型最低制限価格について

八潮市では、平成23年4月1日以降に実施する建設工事等に係る一般競争入札について、変動型の最低制限価格を設定しています。

また、平成25年4月1日から建設工事に係る設計、調査、測量、その他の業務委託に係る一般競争入札についても変動型最低制限価格を設定しています。

### 1. 対象とする案件

建設工事に係る設計、調査、測量、その他の業務委託に係る一般競争入札

### 2. 最低制限価格の算出について

**【注】以下の設定方法及び算出例における予定価格、最低制限価格、入札価格及び落札(予定)価格は、すべて消費税及び地方消費税を除く額です。**

(2)建設工事に係る設計、調査、測量、その他の業務委託の場合 【測量・地質調査業務以外】

#### ア. 最低制限価格の設定方法

(ア)入札参加者が5者以上のとき

有効な入札価格(予定価格を超えるもの、予定価格の100分の60未満のもの等は除く。)の平均額に100分の80を乗じて得た価格、又は予定価格に100分の60を乗じて得た価格のいずれか高い方を最低制限価格とします。

ただし、変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満になったときは、(イ)の計算方法によります。

(イ)入札参加者が5者未満のとき

予定価格に100分の60を乗じて得た価格を最低制限価格とします。

上記の(ア)又は(イ)で求めた最低制限価格未満の入札をした札は失格となります。  
(この最低制限価格以上、かつ予定価格以下の範囲の中で最低の金額が落札(予定)価格となります。)

#### イ. 変動型最低制限価格の具体的な算出例

入札件名: 市道〇〇新設工事実施設計業務委託

場 所: 八潮市中央二丁目地内

予定価格: 10,000,000円

【入札に参加した者が5者以上のケース①】

No.	入札者	入札価格
1	A	5,800,000 円
2	B	6,700,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,000,000 円
5	E	9,500,000 円
6	F	10,000,000 円
7	G	10,500,000 円

計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の100分の60未満であるため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 有効な入札価格の札の平均額を算出します。  
 ・有効な入札価格の札であるBからFの合計を札数の5で割ります。  
 $43,600,000 \text{ 円} \div 5 = 8,720,000 \text{ 円}$  (1円未満の端数がある場合は切捨て)
- ④ 平均額に100分の80を乗じます。  
 $8,720,000 \text{ 円} \times 80 / 100 = 6,976,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ⑤ 価格を比較して最低制限価格を決定します。  
 ・上記①と④で計算した価格を比べて高い価格を最低制限価格とします。  
 $6,000,000 \text{ 円} < 6,976,000 \text{ 円}$   
 ∴ 6,976,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	5,800,000 円	← 予定価格の100分の60未満のため除く
2	B	6,700,000 円	← 最低制限価格未満のため失格
最低制限価格6,976,000円			
3	C	8,400,000 円	← 落札(落札候補)
4	D	9,000,000 円	
5	E	9,500,000 円	
6	F	10,000,000 円	
予定価格10,000,000円			
7	G	10,500,000 円	← 予定価格超過

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したCが8,400,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者以上のケース②】

No.	入札者	入札価格
1	A	5,800,000 円
2	B	6,700,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,000,000 円
5	E	9,500,000 円
6	F	10,500,000 円
7	G	11,000,000 円

計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の100分の60未満であるため除きます。  
 ・Fが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(B、C、D及びEの4者)になったため、予定価格に100分の60を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,000,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	5,800,000 円	← 予定価格の100分の60未満のため除く
最低制限価格6,000,000円			
4者	2	B	6,700,000 円 ← 落札(落札候補)
	3	C	8,400,000 円
	4	D	9,000,000 円
	5	E	9,500,000 円
予定価格10,000,000円			
6	F	10,500,000 円	← 予定価格超過
7	G	11,000,000 円	← 予定価格超過

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したBが6,700,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者未満のケース】

No.	入札者	入札価格
1	A	6,000,000 円
2	B	7,500,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,300,000 円

計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きますが、この例では該当がありません。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(A、B、C及びDの4者)であるため、予定価格に3分の2を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,000,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格
最低制限価格6,000,000円		
1	A	6,000,000 円
2	B	7,500,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,300,000 円
予定価格10,000,000円		

←落札(落札候補)

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したAが6,000,000円で落札(落札候補)となります。

|(3)建設工事に係る設計、調査、測量、その他の業務委託の場合 【地質調査】

ア. 最低制限価格の設定方法

(ア)入札参加者が5者以上のとき

有効な入札価格(予定価格を超えるもの、予定価格の3分の2未満のもの等は除く。)の平均額に100分の85を乗じて得た価格、又は予定価格に3分の2を乗じて得た価格のいずれか高い方を最低制限価格とします。

ただし、変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満になったときは、(イ)の計算方法によります。

(イ)入札参加者が5者未満のとき

予定価格に3分の2を乗じて得た価格を最低制限価格とします。

上記の(ア)又は(イ)で求めた最低制限価格未満の入札をした札は失格となります。  
(この最低制限価格以上、かつ予定価格以下の範囲の中で最低の金額が落札(予定)価格となります。)

イ. 変動型最低制限価格の具体的な算出例

入札件名:〇〇公園地質調査業務委託  
場 所:八潮市中央三丁目地内  
予定価格:10,000,000円

【入札に参加した者が5者以上のケース①】

No.	入札者	入札価格
1	A	6,100,000 円
2	B	6,800,000 円
3	C	7,900,000 円
4	D	8,600,000 円
5	E	9,400,000 円
6	F	10,000,000 円
7	G	10,500,000 円

計算方法

- ① 予定価格に3分の2を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 2/3 = 6,666,667 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の3分の2未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の3分の2未満であるため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 有効な入札価格の札の平均額を算出します。  
 ・有効な入札価格の札であるBからFの合計を札数の5で割ります。  
 $42,700,000 \text{ 円} \div 5 = 8,540,000 \text{ 円}$  (1円未満の端数がある場合は切捨て)
- ④ 平均額に100分の85を乗じます。  
 $8,540,000 \text{ 円} \times 85/100 = 7,259,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ⑤ 価格を比較して最低制限価格を決定します。  
 ・上記①と④で計算した価格を比べて高い価格を最低制限価格とします。  
 $6,666,667 \text{ 円} < 7,259,000 \text{ 円}$   
 ∴ 7,259,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	6,100,000 円	← 予定価格の3分の2未満のため除く
2	B	6,800,000 円	← 最低制限価格未満のため失格
最低制限価格7,259,000円			
3	C	7,900,000 円	← 落札(落札候補)
4	D	8,600,000 円	
5	E	9,400,000 円	
6	F	10,000,000 円	
予定価格10,000,000円			
7	G	10,500,000 円	← 予定価格超過

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したCが7,900,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者以上のケース②】

No.	入札者	入札価格
1	A	5,800,000 円
2	B	6,500,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,000,000 円
5	E	9,500,000 円
6	F	9,800,000 円
7	G	11,000,000 円

計算方法

- ① 予定価格に3分の2を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 2/3 = 6,666,667 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の3分の2未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の3分の2未満であるため除きます。  
 ・Bが予定価格10,000,000円の3分の2未満であるため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(C、D、E及びFの4者)になったため、予定価格に3分の2を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,666,667円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	5,800,000 円	← 予定価格の3分の2未満のため除く
2	B	6,500,000 円	← 予定価格の3分の2未満のため除く
最低制限価格6,666,667円			
4者	3	C	8,400,000 円 ← 落札(落札候補)
	4	D	9,000,000 円
	5	E	9,500,000 円
	6	F	9,800,000 円
予定価格10,000,000円			
7	G	11,000,000 円	← 予定価格超過

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したCが8,400,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者未満のケース】

No.	入札者	入札価格
1	A	6,500,000 円
2	B	7,600,000 円
3	C	8,700,000 円
4	D	9,800,000 円

計算方法

- ① 予定価格に3分の2を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 2/3 = 6,666,667 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の3分の2未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の3分の2未満であるため除きます。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(B、C及びDの3者)であるため、予定価格に3分の2を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,666,667円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格
1	A	6,500,000 円
← 予定価格の3分の2未満のため除く		
最低制限価格6,666,667円		
2	B	7,600,000 円
← 落札(落札候補)		
3	C	8,700,000 円
4	D	9,800,000 円
予定価格10,000,000円		

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したBが7,600,000円で落札(落札候補)となります。

|(4) 建設工事に係る設計、調査、測量、その他の業務委託の場合 【測量業務】

ア. 最低制限価格の設定方法

(ア) 入札参加者が5者以上のとき

有効な入札価格(予定価格を超えるもの、予定価格の100分の60未満のもの等は除く。)の平均額に100分の82を乗じて得た価格、又は予定価格に100分の60を乗じて得た価格のいずれか高い方を最低制限価格とします。

ただし、変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満になったときは、(イ)の計算方法によります。

(イ) 入札参加者が5者未満のとき

予定価格に100分の60を乗じて得た価格を最低制限価格とします。

上記の(ア)又は(イ)で求めた最低制限価格未満の入札をした札は失格となります。  
(この最低制限価格以上、かつ予定価格以下の範囲の中で最低の金額が落札(予定)価格となります。)

イ. 変動型最低制限価格の具体的な算出例

入札件名: 市道〇〇測量業務委託  
場 所: 八潮市中央二丁目地内  
予定価格: 10,000,000円

【入札に参加した者が5者以上のケース①】

No.	入札者	入札価格
1	A	5,800,000 円
2	B	6,700,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,000,000 円
5	E	9,500,000 円
6	F	10,000,000 円
7	G	10,500,000 円

計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の100分の60未満であるため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 有効な入札価格の札の平均額を算出します。  
 ・有効な入札価格の札であるBからFの合計を札数の5で割ります。  
 $43,600,000 \text{ 円} \div 5 = 8,720,000 \text{ 円}$  (1円未満の端数がある場合は切捨て)
- ④ 平均額に100分の82を乗じます。  
 $8,720,000 \text{ 円} \times 82 / 100 = 7,150,400 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ⑤ 価格を比較して最低制限価格を決定します。  
 ・上記①と④で計算した価格を比べて高い価格を最低制限価格とします。  
 $6,000,000 \text{ 円} < 7,150,400 \text{ 円}$   
 ∴ 7,150,400円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	5,800,000 円	← 予定価格の100分の60未満のため除く
2	B	6,700,000 円	← 最低制限価格未満のため失格
最低制限価格7,150,400円			
3	C	8,400,000 円	← 落札(落札候補)
4	D	9,000,000 円	
5	E	9,500,000 円	
6	F	10,000,000 円	
予定価格10,000,000円			
7	G	10,500,000 円	← 予定価格超過

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したCが8,400,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者以上のケース②】

No.	入札者	入札価格
1	A	5,800,000 円
2	B	6,700,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,000,000 円
5	E	9,500,000 円
6	F	10,500,000 円
7	G	11,000,000 円



計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きます。  
 ・Aが予定価格10,000,000円の100分の60未満であるため除きます。  
 ・Fが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。  
 ・Gが予定価格10,000,000円を超過しているため除きます。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(B、C、D及びEの4者)になったため、予定価格に100分の60を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,000,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格	
1	A	5,800,000 円	← 予定価格の100分の60未満のため除く
最低制限価格6,000,000円			
2	B	6,700,000 円	← 落札(落札候補)
3	C	8,400,000 円	
4	D	9,000,000 円	
5	E	9,500,000 円	
予定価格10,000,000円			
6	F	10,500,000 円	← 予定価格超過
7	G	11,000,000 円	← 予定価格超過

4者

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したBが6,700,000円で落札(落札候補)となります。

【入札に参加した者が5者未満のケース】

No.	入札者	入札価格
1	A	6,000,000 円
2	B	7,500,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,300,000 円

計算方法

- ① 予定価格に100分の60を乗じます。  
 $10,000,000 \text{ 円} \times 60 / 100 = 6,000,000 \text{ 円}$   
 (1円未満の端数がある場合は切り上げ)
- ② 有効な入札価格でない札(予定価格を超過した札、予定価格の100分の60未満の札等)を除きますが、この例では該当がありません。
- ③ 変動型最低制限価格の算定に用いる有効な入札価格による入札が5者未満(A、B、C及びDの4者)であるため、予定価格に100分の60を乗じた額(①の額)が最低制限価格となります。

∴ 6,000,000円が最低制限価格となります。

(入札結果)

No.	入札者	入札価格
最低制限価格6,000,000円		
1	A	6,000,000 円
2	B	7,500,000 円
3	C	8,400,000 円
4	D	9,300,000 円
予定価格10,000,000円		

←落札(落札候補)

最低制限価格以上、かつ予定価格以下の金額の範囲の中で最も低い価格で入札したAが6,000,000円で落札(落札候補)となります。